

八洲学園大学国際高等学校 自己点検評価表

平成 23 年度活動の自己点検

本校の目指す学校像： 諸々な事情で高校へ進学しなかった方、進学はしたが中途退学した方、他の高校からの転校を希望する方などが、再び高校卒業にチャレンジできる教育環境を整え、自立できる人間性を育む学校を目指す。

各部分掌の自己評価

評価項目	23 年度の 具体的目標	具体的方策（結果）	数値目標 / 具体的目標	評価（A / B / C） 24 年度への主な課題
教務部	レポート内容の改善 (22 年度～)	・新学習指導要領との照合、難易度の再考と問題の改訂を実施した。	・24 年度先行実施の「科学と人間生活」「数学」のレポートを新規作成する。	A 25 年度より全面实施される新カリキュラムのレポート作成する。
	学則変更 (22 年度～)	・24 年度から始まる新学習指導要領に対応して教育課程を変更し、職員研修を実施した。	・新教育課程に基づいた標準履修パターンの作成と教職員への研修を実施する。 ・新課程との現行課程の理数科目の読み替ルールを策定する。	A
	ひきこもり支援に関する教職員研修の強化	・ひきこもり相談士認定協議会沖縄支部としての支援活動に有用な知識とスキルを、教職員勉強会をを実施した。	・ひきこもり支援をテーマとした教職員勉強会を毎月開催する。	A 23 年度に引き続き、ひきこもり支援をテーマとした教職員勉強会を毎月開催する。
生徒指導部	問題行動を未然に防ぐ	・各担任を中心に全教職員で生徒としっかり向き合い、情報共有し、卒業まで導いた。 ・スクーリング中の全教職員による校内巡回を徹底した。	・問題行動生起を各スクーリング 0 件	B インシデントの未然防止にむけて、生徒ひとりひとりを見つめ、さらに細かい対応をしていく。
	事故を未然に防ぐ	・課外活動や実技授業を中心に、全教職員で毎スクーリング毎、安全について徹底して確認・行動した。	・各クーリング 0 件	A 23 年度と同様に継続してゆく。
進路指導部	進学希望者の把握数を高め、生徒への進路指導を強化する	・指定校推薦などの進路情報を学校誌「ゆんたく」、学校 Web サイト等で継続的に案内した。 ・指定校推薦校の積極的獲得に力を入れた。 ・各クラス担任に働きかけて、ホームルーム活動で進路指導の情報提供をした。 ・各クラス担任に働きかけて、卒業予定生徒の進路希望の早期把握に努め、進路選択の進まない生徒への個別の指導を進めた。	・進学者 10% 増 (本校は、高等学校教育を受けられなかった青少年に高等学校への就学の機会を与えることを教育目的に掲げ、中学や前籍高等学校での様々な挫折を乗り越えて高校卒業を目指す教育活動を図っている。生徒のさまざまなライフスタイルを認め、その一環としての進路指導を行なっている。)	A
	キャリア教育を推進し、就職希望者の就職率を上げる。	・生徒への就職斡旋については、ハローワーク経由の案内等を積極展開した。 ・職業体験講座の内容を前年から刷新して年 1 回実施し、学校誌「ゆ学校新聞」ゆんたく」での実施概要を報告した。	・ハローワーク経由就職者数を前年実績の 50% 増とする。 ・把握就職者数を前年実績の 50% 増とする。	A

評価項目	23年度の 具体的目標	具体的方策（結果）	数値目標 / 具体的目標	評価（A/B/C） 24年度への主な課題
総合推進部	不備リポート・不備視聴報告書の低減化	・教務部と連携し、家庭での学習向上の取り組みとして前年度全体の約50%を占めるリポートの不備（返信用封筒住所氏名未記入）を、提出書類のフォーマットを工夫することで減少をはかった。	・不備リポート数を前比20%程度まで減少させる。	B 傾向分析をしたところ、新入生の初期の不備提出が大半は占めているため、クラス担任を通じての新入生学習指導徹底をはかる。また提出書類のフォーマットを再度検討する。
	情報システム委託業者との確認および指示の強化	・年々ネットワークの障害が増加している為、業者との連絡を密に取り、障害発生を最小限に抑えるよう体制づくりをした。	・全教職員が対応できるよう必要な研修を行なう。 ・インシデントを見逃さない。委託業者と連携を徹底し、不具合を改善させる。 ・新学習指導要領に準じた成績処理システムの改善を行なう。	A 今年度より、保守管理、業者教育の徹底を中心に、正確に成績処理を行うよう教職員研修を引き続き行っていく。
	携帯電話を活用したりリポート補助教材の開発（22年度～）	・リポート提出率、合格率の向上を図った。 ・FAQ 問合わせ対応の効率化を図った。 ・すべてのリポート教材に QR コードを掲示し、携帯電話からアクセスできる WEB 上の補助教材を整備した。	・新課程先行導入科目の新規教材を開発する。 ・23年度教科書に対応したネットワーク教材の調整を行なう。	A 来年度に向け、新教育課程に沿った QR コードの作成を行う。
環境保全部	気象災害対策の強化	・気象災害への事前準備を怠らないようにした。 ・事務部と連携し気象災害対策マニュアルを整備した。 ・台風被害が想定される場合は、全職員協力体制のもと、必要な対策を行った。	台風時の損失 0 件を目指す。	B 台風等の規模や影響・期間に応じたきめの細かい気象災害対策を整備する。
	インフルエンザ対策、食中毒予防など生徒健康管理	・予防教育として手洗い、うがい、消毒の徹底を指導した。 ・インフルエンザ流行期には、朝のホームルーム活動の中で体調チェックシート点検を実施し、体調把握に努めた。	・インフルエンザ発症 0 人をめざす。 ・開校以来保っている食中毒発生なしを維持する。	A
	校内美化の推進	・教職員・生徒による一斉校内清掃を特別活動として実施した。	・全スクーリング回で実施する。	A
渉外・広報部	Web プロモーションの展開（22年度～）	・ソーシャル系メディア（ツイッターと現行メディアの連携を含む）への広報展開を図った。 ・学校 Web サイト・モバイルサイト・全ての広報業務を再度見直し、スピードアップを意識して臨んだ。	・出願数を内地一般生前年度比 10% 増、沖縄 20% 増とする。	A （沖縄・内地あわせて 23% の出願増） ソーシャルメディアをさらに展開する。
	技能連携校・サポート校の開拓（22年度～）	・技能連携校・小規模塾や高等専修学校などのサポート校募集・開拓活動を引き続き展開した。	・九州や本州中部など、サポート校が手薄な地域に重点的にサポート校を開拓・提携する。	A 23年度同様積極的にサポート校募集・開拓を推進する。

評価項目	23 年度の 具体的目標	具体的方策	数値目標 / 具体的目標	評価 (A / B / C) 24 年度への主な課題
渉外・広報部	高等学校卒業程度認定試験受験希望者への対応強化 (22 年度～)	<ul style="list-style-type: none"> ・聴講生 (高等学校卒業程度認定試験受験希望者) 向けのパンフレットを作成した。 ・学校 WEB サイトでの高等学校卒業程度認定試験情報ページの追加、資料請求フォームの追加。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出願数を一般生前年度比内地 10% 増、沖縄 20% 増とする。 	<p>A</p> <p>(内地、沖縄ともに 50% 増であった。)</p> <p>ソーシャルメディアやその他広報媒体を活用して、積極的に PR を行う。</p>
事務部	高等学校等就学支援金制度への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・校内研修、二重三重の事務チェック体制を継続し、適切な運用と案内を行なった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・就学支援金にかかる不測処理 0 件とする。 	A
	経費節減	<ul style="list-style-type: none"> ・通信費、光熱費などの学校維持経費を節減した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内地一般生 10% 増、沖縄 20% の入学者増見込みに対して学校維持経費の増加を 22 年度並に抑える。 	B

各校内委員会の自己評価

評価項目	23年度の具体的な目標	具体的方策（結果）	数値目標 / 具体的目標	評価（A / B / C） 24年度への主な課題
改善委員会 eラーニング	eラーニングコンテンツの見直し (23年度～)	・新学習指導要領との照合、映像と音質の改善を行い、eラーニングの利用者を増やした。	・新学習指導要領の先行実施科目のeラーニングコンテンツより、新規メディアで配信を試行する。 ・利用者10%増を目指す。	B 新教育課程に対応したコンテンツの刷新を行なう。
学校資料改善委員会	デジタルパンフレットの整備 (22年度～)	・ソーシャル系メディア/タッチスクリーン機器等を活用した新たな広報ツール展開のため、デジタルパンフレットを作成した。	・23年度中に公開済。	B 23年度で事業終了とする。
	学校要覧の作成・配布 (22年度～)	・23年度学校要覧を作成・配布することによって本学への信頼度を上げるという目標を達成した。	・23年度学校要覧を、紙とWeb版で作成公開する。	A 24年度版を引き続き作成する。
高大連携推進委員会	高大連携の具体化 (22年度～)	・「ホームルーム活動」などでの大学教育の応用。 ・大学のGPのコンテンツ利用。 ・大学の教員免許更新講習を活用した教育最新知見の研修を行った。	・高大連携活動を学校誌「ゆんたく」、学校Webサイトで公開するとともにGPコンテンツ利用を案内する。 ・教員免許更新対象教員全員を八洲学園大学の実施する教員免許更新講習に参加させる。	A 24年度も継続する。
地域活動・貢献委員会	地域貢献・地域交流の継続 (22年度～)	・昨年度に引き続き、FC琉球・本部町の後援を得て「本部町×八洲学園少年サッカー教室・大会」を企画し、地域交流を通して学校の知名度と好感度を浸透させた。	・22年度と同等以上の参加実績を積み上げる。	A 24年度も23年度と同等以上の実績を積む。
	沖縄県内のひきこもり支援活動	・ひきこもり相談士認定協議会沖縄支部として、ひきこもり児の支援相談活動を行なった。 ・ひきこもり支援に関する講演会を催し、沖縄県内の支援活動の向上を図った。	・ひきこもり支援相談士を学校に配置し、校内にひきこもり相談士認定協議会沖縄支部を設置・運営する。 ・23年度内に6回以上、「ひきこもり支援」に関する講演会を実施する。	A 24年度も月1回以上の講演会を実施する。
	地域の行事や活動への積極参加	・本校教職員の地域行事への積極的な参加を図った。	・地域花火大会への観賞場所の提供 ・本部町祭への出展、イベント参加	A 24年度も23年度と同等以上の実績を積む。
	地域清掃奉仕の継続	・定期的な学校近隣の清掃、地域行事などにも、昨年度同様可能なかぎり参加した。	・地域清掃ボランティア参加。	A 24年度も継続実施する。
自己点検評価委員会	自己点検評価報告書の作成	・22年度の業務全般を自己点検し、23年度活動目標を立てた。	・23年度中に外部へ自己点検評価報告書を公表する。	A ・24年度についても深化しつつ継続実施する。